

〔植物ニュース〕

上田染谷丘高校のフジバカマ

白井幸長

上田染谷丘高校の庭には、絶滅危惧植物のフジバカマの群生が数ヶ所にみられ、初秋には見事に咲き誇っている。職員、生徒で保護し順調に生育している。フジバカマは川の堤防などに生えるキク科の多年草である。高さ1～1.5m、葉は対生し下部のものは3深裂する

が、上部のものは細長い卵形である。8～9月頃、淡紅紫色の花をつけ芳香がある。秋の七草の一つで、利尿の薬効がある。中国原産で、日本へは奈良時代に中国から帰化したものと考えられている。



〔植物ニュース〕

センジョウスゲ・マンシュウクロカワスゲの発見

元島清人

南アルプスの近くに勤務する機会ができましたが、この機会になんとかセンジョウスゲやマンシュウクロカワスゲを見たいと常日頃考えていました。南アルプスの中部～北部の亜高山帯を中心に観察を続けましたが、1992年8月にセンジョウスゲを異なる2カ所で

見ることができました。亜高山帯のやや湿った林内で、花穂を着けない個体を含めると多数にのぼりました。

同年9月にはマンシュウクロカワスゲを亜高山帯の石灰岩地帯で見ることができました。こちらも個体数は多数有りました。